

Odds Park Club

vol.53

2019.4~6

園田競馬場特集

ジョッキーインタビュー
吉村智洋 騎手

Graded Dirt Races

- 4/10 東京スプリント JpnⅢ(大井)
- 4/17 マリーンカップ JpnⅢ(船橋)
- 5/ 1 かきつばた記念 JpnⅢ(名古屋)
- 5/ 2 兵庫チャンピオンシップ JpnⅡ(園田)
- 5/ 6 かしわ記念 JpnⅠ(船橋)
- 5/29 さきたま杯 JpnⅡ(浦和)
- 6/ 6 北海道スプリントカップ JpnⅢ(門別)
- 6/12 関東オークス JpnⅡ(川崎)
- 6/26 帝王賞 JpnⅠ(大井)

歴史の ひとコマ 園田競馬場

あの興奮を、もう一度

JRAで活躍する地方馬を見ては、園田でもサラブレッドを導入すれば挑戦するチャンスが生まれ、強豪相手に互角に戦える馬が出現するだろうと思っていた。が、現実にはそう甘くはなかった。導入初年度、夏の小倉に始まり、阪神・京都へと出走権を得た兵庫所属馬がこぞってJRAへ挑戦したが、全く通用しなかった。

地方在籍のままJRAで勝つライデンリダーやトミノポルンガを輩出した笠松競馬はすごいと思った。やっぱり歴史がモノを言うのだろう。アラブでは歴史の古い園田でも、サラブレッドでは新参者（大昔には導入されていた）。JRAの壁を破るのは何年も先の話かぁ…。と半ば諦めていたが、その瞬間は意外にも早く訪れた。初挑戦から5カ月後の2000年1月22日、かつてはトウカイテイオーが勝ち、後にあのディープインパクトも勝ってスターダムにのし上がった出世レース、若駒ステークスを兵庫



写真●JRA
兵庫所属馬としてJRA初勝利を挙げたダイトクヒテン

のダイトクヒテンが勝ったのだ。

京都特有の寒さが身に染みるパドックでは、出走馬8頭のうち最注目なしにダイトクヒテンが一番よく見えた。有力視されている馬の中には冬毛が残る馬もいて、8頭中7番人気のダイトクヒテンの毛ヅヤだけがピカピカに輝いていた。

最初は馬券を買うつもりはなかったが、パドックを見るうちに買わずにはいられなくなり、単・複と枠連で勝負した。

スタートしてすぐの後方待機策はレースプラン通り。そのまま隊列があまり変わることなく迎えた4コーナー。初めてのJRA挑戦、初めての芝にもかかわらず、手応え抜群！これはひょっとして、と色めき立ち「行けえ——っ！！」と力の限り叫んだ。

その声に応えるかのようにダイトクヒテンは伸びた！直線半ばで差し切ったのが分かるほど、1頭だけ脚色が違っていった。

ゴール前では勝利を確信して、一緒に観戦していた競馬キンキの北防敦記者らと抱き合って喜んだ。狂喜乱舞するほど飛び跳ねながら、際どい2着争いもしっかり確認していた。3着馬は買っていなかったのだ。

騎乗していた田中学騎手に当手を振り返ってもらった。

「1頭でも負かして来いって先生に言われて乗ってましたね。だからスタートを出てすぐに後方に下げたんです。直線で1頭でも差せたらいいなと思っていたら、勝ってしまった…。なんで勝ったかは、未だに分からないです(笑)。覚えているのは2着だった藤田（伸二）さんが、ゴール過ぎてから『おめでとう』って言ってくれたこと。この人カッコええなぁと思いましたね」と懐かしんだ。

兵庫のサラブレッド18頭目のJRA挑戦で掴んだ歴史的初勝利。これから一体どれほど勝つのだろうと心が躍ったものだが、その後に勝った兵庫県馬は延べ6頭。2005年から勝ち馬は出ていない。もう一度あの興奮を味わいたい！そして、もう一度園田駅前で祝勝会がしたい！

竹之上 次男（たけのうえ つぐお）

大阪府出身。1998年から園田競馬場で実況を担当。昨年で20周年を迎えた。園田やJRA関連施設でのイベント出演多数。2018年からはラジオNIKKEI『中央競馬実況中継』の進行も担当している。



第3回 石川ダービー

6月4日(火) 3歳 金沢2000m

2017年に新設され、ダービーシリーズの対象レースとなっている。第1回はヴィーナスアロー、第2回はアルファティハが制覇。吉原寛人騎手、金田一昌調教師のコンビでの連覇だった。特にアルファティハは、吉原騎手が初騎乗にもかかわらず、スタート後7番手から一気に位置取りを上げて1周目直線で先頭に立つと、マイ



写真●石川県競馬事業局
2018年石川ダービー アルファティハ

第49回 東海ダービー

6月11日(火) 3歳 名古屋1900m



写真●愛知県競馬組合
2018年東海ダービー ビップレイジング

1996～04年はJRA交流重賞・名古屋優駿GIIとして開催。05年には地方広域交流重賞として東海ダービーに名称が戻ったが、他地区の馬が勝利したのは14年のケージーキンカメ（金沢）のみ。金沢所属馬はそれまで10頭が挑戦していたが、5着が最高だった。17年からは金沢に石川ダー

ビーができたことで、金沢交流が外れ東海限定戦に。18年はデビューから破竹の10連勝で、重賞も7連勝中の牝馬サムライドライブが単勝1.0倍と堂々の主役。しかし、笠松のビップレイジングが同馬を差し切り、笠松所属馬としては10年のエレーヌ以来となる東海ダービー馬の座に。“競馬に絶対はない”と再認識させられるレースであった。

第47回 高知優駿(黒潮ダービー)

6月16日(日) 3歳 高知1900m

高知3歳三冠の第2弾で、2017年にダービーウィークから拡大されたダービーシリーズに組み込まれた。高知競馬では、かつて2歳新馬の入厩がほとんどなかったため、優勝馬にはJRAまたは他地区からの移籍馬が名を連ねていた。しかし、2015年には17年ぶりに2歳新馬戦が復活。16年の高知優駿はディアマルコ、17年はフリビオンと2年連続で高知デビュー馬が優勝。18年は高知デビュー馬ヴァリヤンツリが単勝1番人気と期待が寄せられたものの4着。勝ったスーパージェットは九州ダービー栄城賞と合わせてダービー2勝を達成。また、佐賀所属馬として高知の重賞を制覇したのは初めてのことだった。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●ホクショウマサル20連勝達成

2月16日、ばんえい十勝で平成最後のスーパーホースが誕生した。当日第11レースで、ホクショウマサル（牡8・坂本東一厩舎）が勝利し、ばんえい史上初となる20連勝達成。連続勝利最多記録更新は、1999年サカノタイソン以来、20年ぶりの快挙である。

ホクショウマサルは坂本厩舎から2013年の春にデビューし、14年にはイレネー記念、ばんえいダービーを制したが、その後は喘鳴症（ぜんめいしょう）に苦しんだ。手術を決断して成功。16年春から約2年4カ月間休養し、昨年夏に復帰してから連勝を続けている。



ホクショウマサルが20連勝を達成した2月16日第11レース

喘鳴症とは“のど鳴り”と言われて競走馬にとっては、呼吸が困難になり競走能力に影響をきたす重い疾病である。“のど鳴り”といえども私にも苦い思い出があり、まだトラックマンになって間もない昭和50年（1975年）頃、ある調教師に怒られたことがある。当時は厩舎回りをして囲み記事を書いていたが、『この、乾いた重い馬場ではのどが鳴ってるから苦しい』という記事が原因のようだった。「こんなことを書かれたら馬の値段が下がる」とのことで、別に嘘を書いたわけではないので納得はいかなかったが、その場は謝って終わった。あとで仲の良かった騎手と話したところ、“のど鳴り”は競走馬としては不治の病と言われていた

時代でやはり隠しておきたいのが本音だという。昭和50年頃、当時は“のど鳴り”が原因で競馬場を去っていった馬たちも少なくはなかった。現在では医学も進歩して簡単に手術が行われるが、競走馬の喉にメスを入れるわけだから、関係者にはかなりの抵抗があった。

そのメスを引退までに4度も入れた馬がいる。1984年にデビューし、若き日の西弘美騎手（現調教師）とコンビを組んでいたカネミフロンティアである。その度に不死鳥のように再起を果たし、デビュー年には1105万円の取得賞金を稼ぎ、のちに最強のダービー馬と呼ばれた。ホクショウマサルが第43代ダービー馬に輝いた29年も前、“のど鳴り”を克服した第14代、傷だらけのダービー馬である。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
12/2	ばんえいオークス(3歳牝)	200	ミスタカシマ(牝3)	鈴木恵介	ばんえい・梶館重人
12/23	ばんえいダービー(3歳)	200	アモンドグンシン(セン3)	阿部武臣	ばんえい・小林長吉
12/29	ヤングチャンピオンシップ(2歳産駒特別選抜)	200	アオノブラック(牡2)	菊池一樹	ばんえい・金田 勇
1/2	帯広記念(4歳以上)	200	オレノココロ(牡9)	鈴木恵介	ばんえい・梶館重人
1/3	天馬賞(5歳)	200	メジロゴリーキ(牡5)	西 謙一	ばんえい・松井浩文
2/3	ヒロインズカップ(4歳以上牝)	200	タイキン(牝6)	菊池一樹	ばんえい・大橋和則
2/10	黒ユリ賞(3歳牝)	200	ジェイカトレア(牝3)	西 将太	ばんえい・平田義弘
2/24	チャンピオンカップ(4歳以上重賞競走優勝馬)	200	メジロゴリーキ(牡5)	西 謙一	ばんえい・松井浩文

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●4月17日、馬春到来

2019年度ホッカイドウ競馬『門別グランシャリオナイト』は来たる4月17日、開幕を迎える。

昨シーズンは、いよいよ佳境へ向かうかという初秋の9月6日未明、最大震度7が観測された北海道胆振東部地震が発生。施設の一部損壊だけでなく長期間の停電、断水など広範囲でのライフラインの停滞が地域によっては2週間近くまで長引き、門別競馬場関係者の生活はもちろん、場内や近隣の外厩で出番を待つ

所属競走馬らの調整等にも甚大な被害が及ぼされた。近年、V字回復が鮮明となってきた門別グランシャリオナイト開催も、柔軟な日程再調整を経た上でも最終的に計4日間の開催中止が発生し、一時は年度計画の前年割れも憂慮されるような状況だった。

そんな中、アークヴィグラスやイグナシオドーロ、ウィンターフェルら2歳牝馬・牡馬の全国区での活躍、シーズン無敗の重賞6連勝で道営記念も圧倒したスーパーステーションらの雄姿と、馬産地競馬を支持する全国のファンの熱い声援等で晩秋のクライマックスへと向かう中、着実に巻き返し、結果的に予算対比は99.4%と僅かに届かなかったものの前年対比では102.0%と何とかプラス達成に漕ぎ着けた。開催1日平均では107.4%まで伸び、全国におけるホッカイドウ競馬ファン

の伸長はまったく衰えを見せていないと言えるだろう。

また、NARグランプリ2018では、門別デビューの3頭が受賞。イグナシオドーロが2歳最優秀牡馬に、アークヴィグラスが2歳最優秀牝馬に、そしてハッピーグリーンが最優秀ターフ馬に選出され、特に若駒を中心とする変わらぬレベルの高さをあらためて全国にアピールする結果となった。

第45回北海道2歳優駿JpnⅢでの着順誤審等もあり、波乱に満ちた下半期となった2018シーズンから心機一転、間もなく開幕する新年度シーズン。3月14日からは2歳馬を中心とする能検（競走能力・発走調教検査）がスタートし、4月17日の開幕にかけて新種牡馬の初年度産駒等々、全国のファンが強い関心を寄せるフレッシュなニュースも次々と聞こえてくるだろう。5カ月に及ぶ冬期休催もようやく終わり、いよいよ間近の“馬春到来”を楽しみにお待ちいただきたい。

文●ひだか応援隊



エーデルワイス賞を勝ったアークヴィグラスがNARグランプリ2歳最優秀牝馬に

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●佐賀県競馬組合、岩手県競馬組合

●冬季休催中も人馬が活躍

年末、年始の開催が取り止めとなり、不完全燃焼のままシーズンを終えてしまった岩手競馬だが、休催期間中は佐賀での期間限定騎乗中に佐賀記念JpnⅢを制した山本聡哉騎手を筆頭に、南関東では村上忍、高松亮騎手が奮戦。また、ラブバレットはJRAで、エンパイアペガサスやベンテンコゾウ、ヴィグラスムーヴのオープン馬が南関東に籍を移して走り続けたことで、岩手競馬のファンも楽しむことができたのではないだろうか。そして、2018年の岩手競馬は例年以上にレベルが高かったことも証明されたといえる。

●年度代表馬はチャイヤブーン

2月7日に年度代表馬の選考委員会が

開かれた。異例の展開となったのは2歳部門で、ニューホープとパンプキンズの名前があがったが『該当馬なし』という意見が上回った。これは2000年に部門ごとの選定方法が採られてから初めてのことであるが、2歳三冠レースのうち南部駒賞と金杯の2レースが取り止めとなり、実績の比較が難しかったことが最大の理由だろう。各部門最優秀馬の中から選ばれる年度代表馬は、岩手ダービーダイヤモンドカップとダービーグランプリを勝ち、不來方賞を2着した準三冠の3歳馬チャイヤブーンが選ばれたが、古馬のラブバレットとエンパイアペガサスを推す意見もあった。もしラブバレットが



12月10日 ダービーグランプリ チャイヤブーン

除外された兵庫ゴールドトロフィーJpnⅢに出走し、取り止めとなった桐花賞でチャイヤブーンとエンパイアペガサスの対決が実現しておれば、また違った結果が出たのかもしれない。

文●深田桂一 (ケイシュウニュース)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/3	北上川大賞典(3歳以上)	水沢 2500	エンパイアペガサス(牡5)	菅原俊吏	岩手・佐藤祐司
12/10	寒菊賞(2歳)	水沢 1600	パンプキンズ(牡2)	菅原俊吏	岩手・伊藤和忍
12/10	ダービーグランプリ(3歳)	水沢 2000	チャイヤブーン(牡3)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
12/17	白嶺賞(3歳以上)	水沢 1600	ロジストーム(牡5)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
	桐花賞(3歳以上)	水沢 2000	実施取り止め		
	金杯(3歳)	水沢 1600	実施取り止め		
	トウケイニセイ記念(4歳以上)	水沢 1600	実施取り止め		



佐賀記念JpnⅢを制した山本聡哉騎手(2月11日)

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●新年度の馬場はどうなる？

ここ数年の金沢競馬は逃げた馬がそのまま押し切ってしまう傾向が強くなっており、特に18年度は19レース行われた重賞で半数近くが逃げ切り勝ちという結果だった。馬券的にはまず逃げる馬を探し出して買うことがセオリーとなり、騎手たちも「先手を奪わないと勝てない」という先入観が増し、ゲートが開いてから1コーナーまでにハナを主張する争いが激化して危ないシーンがしばしば見られた。

この異常事態に金沢競馬を主催する石川県競馬事業局は、昨夏から走路馬場の内部をエコー検査などで調査。すると馬

場の基礎となる路盤と表面を覆う砂の間に、砂に含まれている粘土質が堆積して硬化しコンクリート状になったセット層があることが分かった。

走路馬場の路盤は基本、直線は排水がされやすいように内側と外側に緩やかに傾斜してかまぼこ状になっており、コーナーでは遠心力が働いて馬が走りやすいよう外側から内側へやや傾斜している。だがセット層の影響で内側の傾斜が失われてしまっており、そのためどれだけ内ラチ沿いに砂を多く入れても馬場の中央部に寄ってしまう状況になっていた。特にコーナーではそれが顕著で、非力な牝馬でも内コースを通して逃げてしまえば砂が浅いコーナーを回って押し切ることができた。

馬場の改修工事は冬季休催に入った1月上旬から行われた。まず馬場を覆う砂をダンプですべて運び出し、むき出しと



12月16日 中日杯 ヤマミダンス

なった路盤をモーターグレーダーと呼ばれる重機で15～20センチメートルほど削りセット層を剥がし、本来の傾斜がある路盤の状態に戻して砂を入れ直した。厩舎関係者からは「これほどの大規模な馬場改修は見たことがない」という声も上がっていたが、幸い今冬は雪が少なかったために工事は1カ月ほどで完了。果たして逃げ馬有利な状況は改善されるのか、今春は開幕戦から目が離せない。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/2	金沢ヤングチャンピオン(2歳)	1700	アイオブザタイガー(牡2)	畑中信司	金沢・中川雅之
12/16	中日杯(3歳以上)	2000	ヤマミダンス(牝4)	中島龍也	金沢・中川雅之



12月2日 金沢ヤングチャンピオン アイオブザタイガー

笠松競馬



場番号 42#

●“初”に沸いた冬シーズン

18～19年冬シーズンのキーワードは“初”だった。大晦日の東海ゴールドカップではダイヤモンドダンスがデビュー以来、70戦目にしつうらしい初タイトルを獲得。管理する花本正三調教師にとっても開業3年目にして、重賞初制覇であった。陣営にとって『初めて』が重なる、ダブルの歓喜だった。

白銀争覇ではストーミーワンダーが交流重賞に強い兵庫勢や宿敵・名古屋勢の撃退に成功。2番手から3コーナーで早々に先頭に立ち、そのまま後続を振り切り、待望のタイトルホルダーへと仲間入りした。17年秋に当地へ転入し、最下級C級31組スタートからコツコツと勝ち星



12月31日 東海ゴールドカップ ダイヤモンドダンス

を積み重ねて“笠松ナンバーワン”と呼ばれる存在へ成長した。「手ごたえはあったし、着差以上に強いレースでしたね」。リーディング佐藤友則騎手も目を細める快勝劇だった。

●目指すは重賞初制覇

フレッシュ渡邊也騎手の躍進ぶりも光っていた。デビュー年の38勝から大幅な勝ち星アップに成功し、18年は64勝を挙げた。昨年後半から重賞騎乗も確実に増え、内容でも気を吐いてみせる。ライデンリーダー記念（ボルドーブラージュ）ではエムエスクイーンをクビ差まで追い詰めて2着、東海ゴールドカップでは単勝最低10番人気のカガノカリスマを3着へと導き、穴党ファンを大喜びさせた。2月に遠征した園田ユースカッ



1月10日 白銀争覇 ストーミーワンダー

プでも、ボルドーブラージュで再び銀メダルを獲得と、大いにアピールする。「競馬に対する考え方が変わってきました。1年目は勢いで勝ってましたが、最近では考えてレースに臨んでいます」と渡邊騎手。19年の最大目標は『重賞初制覇』。3年目を迎えた伸び盛りのフレッシュから目が離せない。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/30	ライデンリーダー記念(2歳牝)	1600	エムエスクイーン(牝2)	今井貴大	名古屋・竹下直人
12/31	東海ゴールドカップ(OP)	1900	ダイヤモンドダンス(牡9)	筒井勇介	笠松・花本正三
1/10	白銀争覇(4歳以上)	1400	ストーミーワンダー(牡5)	佐藤友則	笠松・笹野博司
1/24	ゴールドジュニア(3歳)	1600	オオエフォーチュン(牡3)	山田雄大	兵庫・住吉朝男
2/7	ウインター争覇(4歳以上)	1800	メモリージルバ(牡10)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男

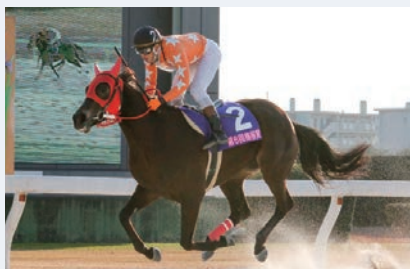
名古屋競馬

場番号 43#

●無敗の進撃エムエスクイーン

ブレイク中の村上弘樹騎手が新春盃で待望のうれしい重賞初制覇を成し遂げれば、最強馬カツゲキキキが名古屋記念で重賞優勝を『18』へ更新。トピックに事欠かなかった18～19年冬シーズン。3歳頂点の東海ダービー（6月11日・名古屋）を目指す戦いも、日増しにホットになってきた。

新馬戦スタートからずっとダービー戦線をけん引してきたのはエムエスクイーン。単勝1.0倍の圧倒的人气に支持された梅桜賞を逃げ切りで応え、デビュー9連勝&重賞V3を飾った。ただ陣営から歯切れいい言葉は少なかった。「毛づやに調教の動きがもうひとつ。最終3コー



1月29日 梅桜賞 エムエスクイーン

ナーからもっと伸びていい」が竹下直人調教師の見立て。今井貴大騎手も「寒い時期なのか、いい頃の感じがしない」。もちろん求めるレベルに期待が大きいからでもある。その後、大事を取って稽古をセーブする時期もあったが、2月末に調教を再開。世代頂点へ、エムエスクイーンが本来の輝きと順調な歩みを取り戻すか。春競馬一番の注目だ。

●新興勢も虎視眈々

新興勢力も確実に力を蓄えてきている。昨年11月のJRA認定競走では、エムエスクイーンに7馬身差で完敗したアンタエウスが、新春ペガサスカップ、スプリ



2月26日 スプリングカップ アンタエウス

ングカップをともに快勝で重賞連勝に成功。そして転入後、先行策オンリーだったゴールドリングが、そのスプリングカップでは控えてもまれる競馬で、内容ある2着に突っ込んでみせた。エムエスクイーンvs活気づき始めた新興勢力。春シーズンも大いに盛り上がりそうだ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/7	マイル争覇(3歳以上)	1600	カツゲキキキ(牡5)	大畑雅章	名古屋・錦見勇夫
12/24	名古屋グランプリJpnⅡ(3歳以上)	2500	チュウワウィザード(牡3)	川田将雅	JRA・大久保龍志
1/1	湾岸ニュースターカップ(3歳)	1400	ブライアンビクター(牡3)	藤原幹生	笠松・大橋敬永
1/3	新春盃(3歳以上)	1800	オールージュ(牡5)	村上弘樹	名古屋・瀬戸口悟
1/4	名古屋記念(3歳以上)	1400	カツゲキキキ(牡6)	大畑雅章	名古屋・錦見勇夫
1/16	新春ペガサスカップ(3歳)	1600	アンタエウス(牡3)	山田祥雄	名古屋・川西 毅
1/29	梅桜賞(3歳牝)	1800	エムエスクイーン(牝3)	今井貴大	名古屋・竹下直人
2/14	梅見月杯(4歳以上)	1900	マイタイザン(牡6)	杉浦健太	兵庫・新井隆太
2/26	スプリングカップ(3歳)	1800	アンタエウス(牡3)	山田祥雄	名古屋・川西 毅

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●年度代表馬マイタイザン

スタートでポンと1頭だけ飛び出した。マイタイザンだ。2018年の古馬チャンピオンを決める園田金盃にフルゲート12頭が出走した。中位にいたタガノヴェリテの下原理騎手が「遅かった」の一言。スタンド前では超スローペースになって、後続馬は仕掛けるタイミングに悩んでいた。向正面に入って残り3ハロン標付近からペースがグリーンと上がって、2番手で追走していたサウスウインドが後退。好位にいたキクノソルが内から、エイシンニシパが外から、逃げ込みを狙うマイタイザンに迫る。一旦はキクノソルが先頭に躍り出たが、マイタイザンが差し返すと、エイシンニシパも抑え



12月13日 園田金盃 マイタイザン

た。クビ、クビ差の接戦を制したマイタイザンは正月の新春賞、5月の兵庫大賞典に続いて、この年園田で重賞3勝目。加えて地元戦5戦5勝で、兵庫競馬年度代表馬に選ばれた。そして、今年2月の名古屋・梅見月杯を逃げ切り圧勝した。ダートグレードは2歳時に2戦とも負けているが、前走の内容から、成長した現在ではタイトルも夢ではない。

●良血ジンギ三冠へ名乗り

明け3歳は多士済々だ。7年ぶりに復活した園田ユースカップは、父ロードカナロア、母ロイヤルインパクト（母父ディープインパクト）の良血ジンギが優勝した。このレースには出走しなかった



2月21日 園田ユースカップ ジンギ

が、笠松・ゴールドジュニアを差し切ったオオエフォーチュン、牝馬限定の園田クイーンセレクション1、2着のアリアナティー、リリコなどもある。4月11日・菊水賞、5月2日・兵庫チャンピオンシップJpnⅡ、6月6日・兵庫ダービーの三冠レースが今から楽しみになってきた。

文●池永博省（大阪日刊スポーツ）

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
12/13	園田金盃(3歳以上)	園田 1870	マイタイザン(牡5)	杉浦健太	兵庫・新井隆太
12/27	兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ(3歳以上)	園田 1400	ウインムート(牡5)	和田竜二	JRA・加用 正
12/31	園田ジュニアカップ(2歳)	園田 1700	テンマダイウエーヴ(牡2)	渡瀬和幸	兵庫・新井隆太
1/3	新春賞(4歳以上)	園田 1870	エイシンニシパ(牡6)	吉村智洋	兵庫・橋本忠明
1/17	園田クイーンセレクション(3歳牝)	園田 1400	アリアナティー(牝3)	大山真吾	兵庫・保利良平
2/14	園田ウインターカップ(4歳以上)	園田 1400	ナチュラリー(牡5)	笹田知宏	兵庫・新子雅司
2/21	園田ユースカップ(3歳)	園田 1400	ジンギ(牡3)	田中 学	兵庫・橋本忠明

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●22年ぶりの快挙！

12月31日に行われた大晦日恒例の一番・第49回高知県知事賞は紅一点ティアアップリパティが逃げ切り勝ちを決めた。2018年に入り大高坂賞、福永洋一記念と重賞を2勝。休養を挟みながらの出走となった時期もあったが、牡馬顔負けのスピード、パワーを武器に名実ともに一線級へと駆け上がった。打越勇児調教師、宮川実騎手ともども、高知県知事賞は初勝利。ティアアップリパティにとっても、高知年度代表馬の座を決定づける勝利となった。高知にはNARグランプリの4歳以上最優秀牝馬に輝いたディアマルコもいるが、ティアアップリパティも能力は相当。今後、どのような路線で活



12月31日 高知県知事賞 ティアアップリパティ

躍を見せてくれるのか興味は尽きない。

●黒船賞への熾烈な争い！

年が明けると黒船賞JpnⅢシーズンの到来。選考競走計3レースで出走権を巡る争いが展開されたが、今年の主役はサクラレグナムだった。1月14日の第8回大高坂賞でコスタアレグレ以下を一蹴すると、2月3日の第16回黒潮スプリンターズカップではエイシンバランサーなどの県外勢にも付け入る隙を与えず、選考競走を連勝。貫禄の違いを見せつけた。コンビを組む赤岡修次騎手は大高坂賞5連覇、黒潮スプリンターズカップは6勝目。サクラレグナムの強さはもちろんだが、赤岡騎手の手腕も見事という他ない。

2月24日の第6回だるま夕日賞はミサイルマンの勝利。大高坂賞を使えず（出



2月24日 だるま夕日賞 ミサイルマン

走取消)、高知県知事賞3着からの参戦だったが、インからティアアップリパティを交わす時の脚には迫力があつた。ゴール後、鞍上の倉兼育康騎手は「韓国での期間限定騎乗時以来かも」というほどのガッツポーズを披露。大井デビュー後、いきなりの3連勝でハイセイコー記念を勝った素質馬が、高知競馬でも輝いた瞬間だった。

文●風間恒一（中島高級競馬塾）

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
12/28	金の鞍賞(2歳)	1400	アルネゴー(牡2)	倉兼育康	高知・細川忠義
12/31	高知県知事賞(3歳以上)	2400	ティアアップリパティ(牝5)	宮川 実	高知・打越勇児
1/14	大高坂賞(4歳以上)	1400	サクラレグナム(牡10)	赤岡修次	高知・田中 守
2/3	黒潮スプリンターズカップ(4歳以上)	1300	サクラレグナム(牡10)	赤岡修次	高知・田中 守
2/24	だるま夕日賞(4歳以上)	1600	ミサイルマン(セン5)	倉兼育康	高知・別府真司

佐賀競馬



場番号 61#

●春競馬の主役は？

ウルトラカイザーは、中島記念では逃げたイッシンドウタイをゴール直前で交わして勝利し、3歳時以来7年ぶり2度目の同レース制覇となった。その後は佐賀記念JpnⅢへは向かわず、ウインターチャンピオンへ出走したが、佐賀オータムスプリントで2着に降していたシゲルクロマグロが逃げ切り勝ちを収め、1馬身半差の2着。秋冬の短距離重賞は両馬が1、2着を分け合うかたちとなった。シゲルクロマグロを管理する九日俊光調教師によると「1400メートルよりも900メートルの適性が高い」とのこと。6月の新設重賞・佐賀がばいダッシュが大きな目標となりそうだ。



1月20日 花吹雪賞 スーパージンガ

一方、佐賀記念JpnⅢでは、JRA所属時にGⅢを2勝し、12月の佐賀転入後は2戦ともに圧勝のグレイトパールが2番人気に推されたが、ヒラボクラターシュから1秒9差の4着に敗退。しかし、地方最先着は確保しており、今後の交流重賞でも佐賀の大格格として期待したいところだ。

花吹雪賞は、11月に門別から転入し3連勝中だったスーパージンガが2着に7馬身差をつける圧勝。昨年8月に騎手から転身した渡辺博文調教師は重賞初制覇だった。続いて今年から1400メートルへ距離短縮となった飛燕賞へ挑戦。門別から転入後3連勝でカペラ賞を制したニュールックとの対決は、2番手から向正



2月17日 飛燕賞 ニュールック

面で先頭に立った同馬との差を直線で詰めるも3馬身及ばず2着。ニュールック、スーパージンガ両陣営ともにグランダム・ジャパン3歳シーズンへの参戦を視野に入れており、4月7日のル・プランタン賞での再戦に注目が集まりそうだ。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2018年12月～2019年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/23	中島記念(3歳以上)	1800	ウルトラカイザー(牡10)	真島正徳	佐賀・真島元徳
1/20	花吹雪賞(3歳牝)	1800	スーパージンガ(牝3)	松井伸也	佐賀・渡辺博文
1/27	ウインターチャンピオン(3歳以上)	1400	シゲルクロマグロ(牡6)	山口 勲	佐賀・九日俊光
2/11	佐賀記念JpnⅢ(4歳以上)	2000	ヒラボクラターシュ(牡4)	山本聡哉	JRA・大久保龍志
2/17	飛燕賞(3歳)	1400	ニュールック(牝3)	山口 勲	佐賀・東 眞市
2/19	たんぼぼ賞(3歳九州産)	1400	エリーバラード(牝3)	鮫島克也	JRA・菊澤隆徳

競馬場別
騎手リーディング Top3

(2018年1月1日～12月31日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	阿部武臣	1,023	194	176	142	19.0	36.2	43,373,000
2	鈴木恵介	913	184	120	118	20.2	33.3	52,400,000
3	藤本 匠	936	139	134	95	14.9	29.2	39,084,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	桑村真明	594	125	85	78	21.0	35.4	121,131,000
2	服部茂史	533	82	64	67	15.4	27.4	69,387,000
3	五十嵐冬樹	524	81	58	81	15.5	26.5	76,552,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	748	190	118	104	25.4	41.2	109,906,000
2	村上 忍	841	182	131	105	21.6	37.2	116,127,000
3	山本政聡	775	104	107	106	13.4	27.2	73,055,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	青柳正義	685	119	123	83	17.4	35.3	66,831,000
2	中島龍也	600	86	84	85	14.3	28.3	54,198,000
3	米倉 知	301	79	45	31	26.2	41.2	39,910,500

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	佐藤友則	462	134	81	60	29.0	46.5	52,234,000
2	筒井勇介	654	120	98	80	18.3	33.3	43,209,000
3	藤原幹生	519	97	49	71	18.7	28.1	35,683,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	丸野勝虎	706	138	102	66	19.5	34.0	83,532,000
2	岡部 誠	519	133	106	44	25.6	46.1	59,881,000
3	大畑雅章	753	126	98	84	16.7	29.7	72,572,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	1,209	289	209	166	23.9	41.2	221,501,000
2	田中 学	1,120	241	225	184	21.5	41.6	226,421,500
3	下原 理	1,051	213	147	134	20.3	34.3	177,716,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	永森大智	722	179	133	96	24.8	43.2	85,628,000
2	赤岡修次	501	175	83	64	34.9	51.5	89,967,000
3	宮川 実	646	152	94	88	23.5	38.1	79,143,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	684	229	133	77	33.5	52.9	99,042,000
2	*岡村健司	737	98	101	106	13.3	27.0	50,357,000
3	鮫島克也	568	92	65	83	16.2	27.6	45,076,500

※船橋所属。佐賀で期間限定騎乗

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

吉村智洋騎手が2018年に挙げた勝ち星は296。その前年が初めての200勝突破だったのだから、驚異的な伸び幅といえる。

年が明けてしばらくして、いつもの年とは明らかに勝ち鞍が増えるスピードが違うという感じがありましたね。所属厩舎の調子も良かったですし。技術的な面に関しては自分ではちょっとよくわかりませんが、勝ち鞍が増えると気持ちに余裕ができると思いますか、勝負どころでひと呼吸、ふた呼吸待てる、そこは以前とは違うかなとは感じます。この結果につながった要因はほかにもいろいろあると思うんですが、いちばんは人に恵まれて、そしていい馬に乗せていただけたことですね。

その年間勝利数は、兵庫県競馬の新記録。そして2018年の日本における最多勝利騎手になった。

じつは3月半ばくらいから意識していました。こんなチャンスはなかなか巡ってこないぞと思いましたね。でも年末が近づいたとき、全国リーディングまでは厳しいかなと思ったんですよ。「全国はJRAでの勝ち星も足される」と聞いて「えっ？」という感じでしたからね。そのときに森泰斗騎手のJRAでの7勝を足してみたら「ちょっと無理かな」と。でも所属厩舎のサポートもあって、逆転することができました（森騎手とは4勝差）。

吉村騎手は2002年のデビューから少しずつ成績を上げてきた。しかし兵庫は上位に名手たちの厚い壁がある競馬場だ。

何年間か、5位や4位が続きましたが、自分としては上に行くことをあきらめたことはないですね。いつか負かしてやると、ずっと思っていました。でも若いころは常に心が折れそうでしたよ。ジョッキーの人数は多いし、存在感がある人も多かったですから。それに最初のころは、1日に1鞍あるだけでもありがたいという感じでした。攻め馬で3頭乗って、そのなかの1頭に競馬で乗せてもらえればいいほう。厩舎での日々も厳しかったですが、それでも「頑張っていれば良いことがきっとある、努力はうそをつかない」という思いだけでした。



写真●兵庫県競馬組合

のじぎく賞では10番人気トゥリパで会心の勝利

それに騎手をやめても、ほかに何かできるわけではなかったですからね。せっかく乗り役になれたんだから、やれることは全部やろうという気持ちでいました。

「厳しかった」というのは橋本忠男厩舎。どのような厳しさがあったのだろうか。

いやなんというか、すべてにおいて厳しかったですよ。でも“この人についていけば大丈夫”と、そんな気がしていましたから、それを信じていったという感じです。

その思いが2018年ののじぎく賞をトゥリパで制し、検量室に戻ってきたときの雄叫びにつながった。

あれは会心の勝利でした。オーナーが橋本先生で、調教師が昔の兄弟子だった平松先生。そして弟子の僕が乗って、ですからね。あのレースはゲートをうまく出て先手を取りましたが、途中でハナを奪われたんです。でもそこであわてずに辛抱できたことで、うまくいったんだと思います。

橋本厩舎は1374勝を挙げた名門。その後は2012年開業の飯田良弘厩舎に移った。

橋本先生が勇退される2年くらい前からよく乗せてもらっていて、その流れで“ウチに来てもらえますか”と言われました。そのとき「僕はけっこうワガママですけど、大丈夫ですか？」と確認したんですよ。それでも良いというので所属させてもらいましたが、それ以後は馬の状態や出すレースについて、話し合いながら進められていますね。でも攻め馬にたくさん乗るのは相変わらず。以前午前0時からだったのが、0時半にはになりましたが（笑）。

飯田厩舎は2018年の兵庫リーディング。吉村騎手もリーディングを獲得したことで、年明けの佐々木竹見カップ・ジョッキーズグランプリに初めて出場することになった。

左回りは何年ぶりかなという感じで新鮮でしたが、あまり違和感はありませんね。全国のトップジョッキーと一緒に乗れたこともいい経験になりました。夏には盛岡でジャパンジョッキーズカップがあるという話も聞きましたし、いろいろと楽しみです。ただ、僕は自分の場所で寝るほうが性に合っているんですけど（笑）。

さらに地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップでは、本選からのスタートになりそう。

ワイルドカードには出たことがあります。本選からですからチャンスは大きいですよ。遠征経験が少ないので、どこで行われることになるのかも楽しみ。これまで笠松や名古屋、金沢がたまにあったというくらいでしたが、最近は佐賀にけっこう行かせてもらっています。

吉村智洋（兵庫）

よしむら ともひろ



1984年12月26日生まれ やぎ座 O型

大阪府出身 飯田良弘厩舎

初騎乗／2002年4月17日

地方通算成績／13,634戦1,665勝

服色／胴黒、袖赤

重賞勝ち鞍／新春賞(3回)、のじぎく賞、兵庫若駒賞、園田プリンセスカップ(2回)、兵庫クイーンカップ、福山牝馬特別、東海クイーンカップなど15勝

※2019年2月21日現在

そしてNARグランプリへの出席も初めて。それに向けての打ち合わせで「これが初めて最後だから」と言っていたが……。

それはまあ、そういうくらいに考えておいたほうがいいと思って。本当に2018年はたまたまですよ。それに兵庫の騎手がそこに行ける手段は限られていますからね。その意味でも自分の数字で行けるというのは、とてもうれしいことだと思います。

しかしながら2019年も年初から勝ち星の量産体制が続いている。

2018年の年末に所属厩舎も含めて出し切ったと思ったんですが、続いていますね。大晦日はお祝いの行事もなく、家族は嫁さんの実家に帰っていたので、自宅で格闘技を見ながら1人焼肉。それで元日はダラダラして夕方に調整ルームに入るという、いつもとだいたい同じ過ごし方でした。

それでも周りの見る目は変わってくる。

結果は出せませんでした。兵庫ゴールドトロフィーでマテラスカイに乗せていただいたことがとてもうれしくて、そしてありがたいことだと思いました。そういう経験をこれからも重ねることができればと思っています。馬乗りは一生が勉強。ひとつでも多く乗って、少しでも多く学びたい。そのためには大きなケガをしないことです。1年間フルに乗って、そして乗り役同士で切磋琢磨して高め合って、そしてそのなかでまた勝ち取りたいと思います。僕はときどき「勝ったあとでもむずかしそうな顔をしている」と言われますが、結果とは関係なく、自分のなかに反省や不満が残っていることがあるんです。これからはそういうことが少なくなるようにしたいですね。自分自身でできることをしっかりとやって、自分が納得できるレースが増えていくようにしていきたいです。

トップジョッキーに コースの特徴を聞きました

取材・文●浅野靖典

砂の補充に注意!

園田競馬場では年に2度、大規模な砂の入れ替えがあり、その直後はインコースを中心に砂が深くなる。今回の取材時(2月5日)はそれに加えて、開催の直前に1コーナーから2コーナーまでの内側に砂を補充。その影響でインコースの新しい砂と、その外側の古い砂とが並んでツートンカラーになっていた。

「とにかく今はインコースが深いので、小回りコースでも内側は通りたくないですね」と、石堂響騎手。ただし「すぐにこの状態は解消されると思います」とのこと、実際に2月中旬以降は逃げ馬が内ラチ沿いを通る、通常の園田競馬に戻っていた。

それでもときどき砂が足されるのが、園田競馬場の特徴のひとつ。「砂を入れたときは発表がありますが、それがどの程度なのかは乗ってみたいとわからないですね。ひとつ言えるのは、深いときは前に強い馬がいると逆転は難しいかなということ。3コーナーでインに入ってその馬を外に動かすとか、いろいろとやってみるんですが」と、田中学騎手。

下原理騎手も「前半の3レースくらいまではどんな状況なのか、レース後にモニターをじっくり見ます。園田はその日によって馬場の状況が違うんです。火曜日は先行馬にとってキツイ馬場でも、木曜日になると前が残りに出すこともありますし。そういう意味では、僕ら西脇所属騎手よりも園田所属のほうが、調教に乗れるぶん有利かもしれませんね」

大山真吾騎手も頭を悩ませながら乗っているとのこと。「馬の力と相談しながらですね。外を回っても間に合うのかどうか。ちょっと雨が降っただけでも変わりますから。これが夏の乾いている馬場だとインが有利で、力量的に微妙な馬でもロスなく行ければ活路が出てくるんですが」

内枠と外枠はどちらが有利?

園田競馬場は、地方競馬のなかでは先行争いが激しくなる傾向。そのなかで、各騎手はどうやって乗るかを考えている。

「全体的な話で言えば、1400mで行きたいタイプは内枠のほうが有利」と話したのは渡瀬和幸騎手。「逃げたいけれどダッシュ力がそれほどでもない馬は、外枠になると厳しいですね。それとみんなが気を付けているのが1700mの外枠。1歩目です

べることがあるんですよ。だから落ち着いてスタートを切らせるために、外枠でもあえて先入れする騎手もいます」とのこと。

下原騎手も「1230mと1700mの外枠は、最初のコーナーで3頭か4頭分、外を回らされることになりがちなので不利ですね。ただ、インに砂を足した直後は外枠が大歓迎になります」と話した。

その点については、高い位置から長期間にわたってレースを見ている吉田勝彦アナウンサーからも話が合った。「内に砂を入れたときは騎手がそこをよけますから、逆に窮屈な競馬になることが多いですね。騎手が通りやすいと判断した場所が、じつはそうではなかったり。ここは本当に、駆け引きが重要なコースだと思います。それと、雨が降ったときがまた難しいんです。路盤がインコースに向かって傾斜しているので、雨が降ると砂が流れて内側に集まってきます。そうすると各騎手はインコースを避けるのですが、でも雨が降って逆に内側が走りやすくなることもあるんです」

その都度の“読み”が必要になるのは、騎手もファンも、そして実況アナウンサーも同じようだ。

やはり園田の馬場は難しい?

それでも「2歳戦はとにかく前に行ったほうがいいですね」と、渡瀬騎手。「2歳はクラス分けの幅が広いので、力量差がわりとハッキリします。そうすると時計的にイマイチという馬でも残れることがありますから」



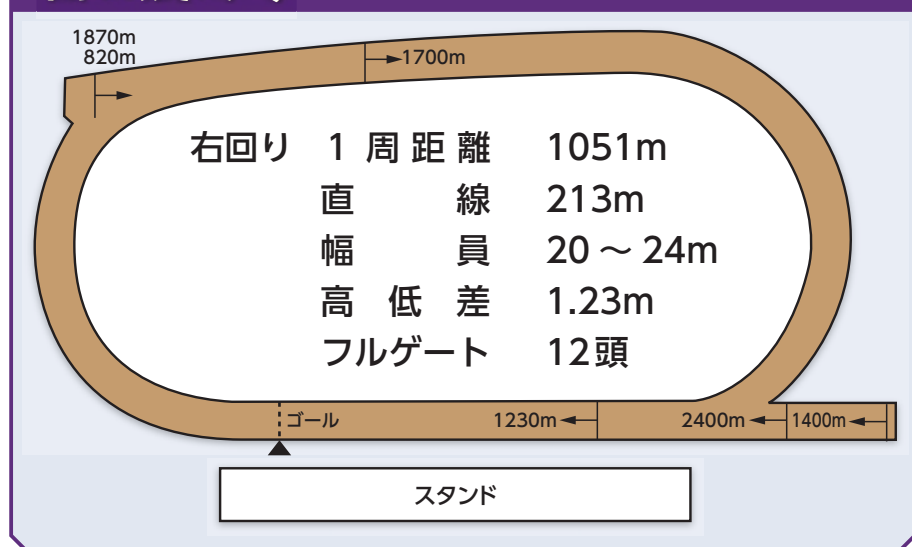
また、田野豊三騎手からはこんな話も。「前走で強い勝ちかたをした馬のなかには、気分よく走れたのが勝因、というケースがありますよ。圧勝するとだいたい次もすごい人気になりますが、そんな簡単にはいかないんですよ……」

川原正一騎手からは「この競馬場はペース次第。馬場の向き不向きも結果に影響しますし、砂を入れた直後に大雨が降ると、無理して逃げてでも残れたりします。園田のレースは、道中でどの選択をすればより正解に近づけるのかがわからない。もっと言うと、何が最良なのかがわからないんです」

といったあんばいで、各騎手とも“これが特徴”という表現はしにくいという回答。川原騎手の「わからない」が、このテーマにおける正解になるのかもしれない。

そのなかで興味深いことを話していたのが、金沢から期間限定騎乗で園田に来ていた青柳正義騎手。「馬場のまんなかから外側は砂がわりと薄いので、3コーナーあたりで手応えが悪くなってきた馬や、もともと非力なタイプとかは、4コーナーで外を大きく回らせる手があると思います」と教えてくれた。確かに青柳騎手とはあるレースで、3コーナーで先頭集団から脱落し始めた馬を最後の直線で外ラチ近くに誘導して、4着にまでよみがえらせた。こんなことができるのも園田競馬の面白さ。まさに園田競馬場の馬場は“生き物”だ。

園田競馬場



4月→6月 注目レース 園田競馬 データ分析

春の園田競馬の注目は、まず菊水賞、兵庫チャンピオンシップJpnⅡ、兵庫ダービーの3歳三冠。15年にインディウムが、兵庫チャンピオンシップJpnⅡを除く二冠を制して以降、三冠いずれも勝ち馬が異なるが、

実施日	レース名(条件)	距離	前年の勝ち馬(所属)
4/11(木)	菊水賞(3歳)	園田1700m	アゼツライト(兵庫)
5/2(休・木)	兵庫チャンピオンシップJpnⅡ(3歳)	園田1870m	テーオーエナジー(JRA)
5/3(祝・金)	兵庫大賞典(4歳以上)	園田1870m	マイタイザン(兵庫)
5/16(木)	のじぎく賞(3歳牝)	園田1700m	トゥリパ(兵庫)
6/6(木)	兵庫ダービー(3歳)	園田1870m	コーナスフロリダ(兵庫)
6/14(金)	六甲盃(4歳以上)	園田2400m	※前回は19年3月26日に実施
6/20(木)	園田FCスプリント(3歳以上)	園田820m	カイロス(高知)・エイシンテキサス(佐賀)

今年は二冠ないし三冠馬の誕生に期待したい。また3歳牝馬では、グランダム・ジャパンの、のじぎく賞が行われる。古馬の一番は兵庫大賞典。昨年は同レースを含む1870メートル重賞を3勝したマイタイザン

が兵庫年度代表馬に選出された。ここでは、09年以降過去10回の菊水賞、距離が2400メートルから現在の1870メートルに短縮された10年以降過去9回の兵庫大賞典から傾向を探っていく。

4/11 菊水賞

●園田ユースC好走馬が狙いか

◇13～18年では、この菊水賞が、前年大晦日の園田ジュニアカップ(園田1700m)以来となる、牡馬が出走可能な地元重賞。7年ぶりに、2月の園田ユースカップ(園田1400m)が復活したことで、3歳になってからの実力比較がしやすくなった。

◇09～18年では、園田ジュニアカップの1～3着馬は、7勝を挙げている反面、2着2回、3着1回(着外8回・不出走12頭)

で複勝率は55.6%。15年インディウム、17年マジックカーペットら4頭は園田ジュニアカップでも1着だった。園田ジュニアカップへの出走資格がない転入馬では、勝ち星は13年ユメノアトサキのみだが、09～16年では毎年1頭、3着以内に入っている。

◇園田ユースカップが実施されていた09～12年は、同1～3着馬は出走6頭で2勝、3着3回の複勝率83.3%と優秀。09年3着ミナミノヒリュウは、園田ジュニアカップでは11着だったが、園田ユースカップで1着と巻き返しての参戦。同

年4着タマモリターンは、園田ジュニアカップ・1着も、園田ユースカップでは5着で、園田ユースカップの結果を重視すべきか。なお09～12年に3着以内にいった転入馬3頭はすべて園田ユースカップに不出走だった。

◇単勝1番人気は、6勝、2着2回、3着1回。唯一の着外は18年コーナスフロリダだが、3着馬からハナ差4着。2番人気も1勝、2、3着各3回と堅実で、1、2番人気揃って3着以内を外したことはないが、16～18年では8番人気以下の伏兵が3着以内に食い込んでいる。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
18.4.12 園田1700m 晴・良 12頭	2	2	アゼツライト(兵庫)	牡3	56	川原正	荒山義	1.54.1	2	1-1-1-1	3歳AB特別①	3走前(園田ジュニアC⑩)
	3	3	フセノラン(兵庫)	牝3	54	下原理	盛本信	6	4	6-6-6-4	3歳A特別①	園田ジュニアC⑤
	1	1	チェリーウイング(兵庫)	牡3	56	廣瀬航	保利平	2 1/2	8	3-3-5-5	3歳AB特別⑤	3歳B特別①
17.4.13 園田1700m 晴・稍重 12頭	2	2	マジックカーペット(兵庫)	牡3	56	木村健	田中範	1.53.8	1	5-5-5-3	3歳AB特別①	3走前(園田ジュニアC①)
	3	3	ブレイヴコール(兵庫)	牡3	56	吉村智	諏訪貴	1 1/4	2	1-1-1-1	3歳A特別①	園田ジュニアC②
	4	4	ボッシビリタース(兵庫)	牡3	56	鴨宮祥	渡瀬寛	1 1/2	9	2-2-2-2	3歳AB特別③	名古屋・スプリングC⑦
16.4.7 園田1700m 雨・不良 12頭	6	7	シュエット(兵庫)	牝3	54	笹田知	新子雅	1.49.1	10	8-8-3-3	3歳AB特別③	3走前(園田ジュニアC⑦)
	1	1	タケマルビクター(兵庫)	牡3	56	田中学	長倉功	ハナ	2	5-4-1-1	3歳AB特別①	3歳AB特別②
	5	5	エイシンニシパ(兵庫)	牡3	56	板野央	橋本忠	4	1	6-6-7-4	3歳AB特別①	3歳AB特別①

5/3 兵庫大賞典

●はがくれ大賞典組に注意

◇今年度から6月に実施される六甲盃(園田2400m)1着馬が2勝、2着2回(着外1回)で連対率80.0%。ただ、15年以降は18年ノブタイザン(9着)しか出走がなく、同2着馬1頭、4着馬2頭による3着が最高。近年では以前ほど六甲盃との関連性は強くない。その原因は、六甲盃と同時期に実施されているはがくれ大

賞典(佐賀2000m)が14年に全国交流化されたこと。14年、同1着エーシンクリアーがこのレースで3着に入ると、15～18年では、はがくれ大賞典出走馬5頭が2勝、2着2回、3着1回で複勝率100%。出走してくれば押さえない。14～18年の3着以内馬15頭で、同年のはがくれ大賞典または六甲盃に不出走だった5頭中4頭は、同年に佐賀記念などJpnⅢ競走を使われていた。

◇単勝1番人気は6勝、2着2回、2番人気

は2勝、2着4回、3着1回とともに堅実。6番人気が2、3着各2回、8番人気、11番人気が3着各1回だが、連対馬27頭中21頭は4番人気以内。

◇出走7頭の9歳が1、2、3着各1回の好成績だが、14～18年では3着以内ゼロ。14年以降、勝率と連対率でトップなのは6歳で出走14頭で3勝、2、3着各1回。複勝率では出走6頭と少ないが2着1回、3着2回の4歳が最も優秀。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
18.5.4 園田1870m 晴・良 12頭	6	8	マイタイザン(兵庫)	牡5	56	杉浦健	新井隆	2.02.3	2	1-1-1-1	A1特別①	新春賞①
	5	6	キクノソル(兵庫)	牡8	56	田中学	田中範	2 1/2	1	7-7-2-2	A1特別①	六甲盃②
	6	7	エイシンニシパ(兵庫)	牡5	56	吉原寛	橋本明	3	3	6-6-7-4	はがくれ大賞典①	梅見月杯②
17.5.5 園田1870m 晴・良 12頭	4	4	サウスウインド(兵庫)	牡6	56	赤岡修	山口浩	2.01.7	1	1-1-1-1	A1特別②	はがくれ大賞典②
	5	5	エーシンクリアー(兵庫)	牡7	56	吉村智	橋本明	1/2	6	5-4-3-2	A1特別③	はがくれ大賞典⑥
	8	11	エイシンホクトセイ(兵庫)	牡6	56	山田雄	新子雅	3 1/2	11	10-9-8-6	A1特別⑥	3走前(六甲盃④)
16.5.5 園田1870m 晴・良 12頭	5	6	エーシンクリアー(兵庫)	牡6	56	田中学	橋本明	2.03.5	3	1-1-1-1	はがくれ大賞典③	梅見月杯⑤
	7	10	アクロマティック(兵庫)	牡6	56	下原理	新子雅	9	1	4-4-4-5	名古屋大賞典JpnⅢ⑤	梅見月杯①
	4	4	バズーカ(兵庫)	牡4	56	赤岡修	田中範	アタマ	2	5-5-5-4	A1特別①	船橋・オープン③

園田競馬場

サイヤーランキング

取得賞金 & 勝利数

2017年2月1日～2019年1月31日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(3708レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
サウスヴィグラス	114,330	117	873	74	エイシンヴィーヴォ
ゴールドアリュール	86,265	70	498	63	グレイスフルリブ
パイロ	84,093	77	623	39	デルマルーヴル
エンパイアメーカー	81,839	74	679	54	タガノディグオ
カネヒキリ	78,221	36	261	30	テーオーエナジー
シニスターミニスター	67,728	44	275	34	ハヤブサマカオー
キングカメハメハ	67,014	62	492	59	キクノソル
ロージズインメイ	65,893	62	643	44	ウインムート
シンボリクリスエス	63,176	69	647	56	エイシンホクトセイ
ダイワメジャー	62,852	88	711	74	サンライズトーク

■1230m(456レース)

サウスヴィグラス	27,708	28	239	46	エイシンヴィーヴォ
パイロ	16,542	18	104	24	インディウム
ダイワメジャー	16,036	18	145	29	サンライズトーク

■1400m(2830レース)

サウスヴィグラス	76,130	84	593	67	ドリームコンサート
パイロ	60,355	49	456	38	デルマルーヴル
ゴールドアリュール	59,997	54	359	57	グレイスフルリブ

■1700m(295レース)

ハーツクライ	19,522	10	107	30	タガノヴェリテ
ワイルドラッシュ	17,338	5	35	9	エイシンニシパ
ファスリエフ	15,480	6	14	8	マイタイザン

■1870m(109レース)

カネヒキリ	29,360	2	4	4	テーオーエナジー
エンパイアメーカー	28,670	1	19	8	タガノディグオ
ファスリエフ	26,136	4	7	2	マイタイザン

※820m、2400mはレース数が少ないため割愛した

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利頭数	活躍馬(勝利数順)
1 サウスヴィグラス	117	92	873	74	46	リブレイス
2 ダイワメジャー	88	101	711	74	35	ホーリーエンジェル
3 パイロ	77	60	623	39	28	ファーレンハイト
4 エンパイアメーカー	74	81	679	54	31	キクノステラ
5 ゴールドアリュール	70	72	498	63	37	クールブルーズ
6 シンボリクリスエス	69	76	647	56	31	エイシンミキサー
7 ステイゴールド	68	66	679	44	24	コスモヴァーズ
8 メイショウボーラー	67	59	645	51	25	メイショウティグレ
9 クロフネ	66	64	629	47	26	メイクミーハッピー
10 ブラックタイド	65	55	575	42	24	イネディットタイド

1 サウスヴィグラス	28	20	239	46	16	タマモジュニア
2 ダイワメジャー	18	21	145	29	10	ファラオカズマ
3 パイロ	18	13	104	24	9	メイショウルーシー

1 サウスヴィグラス	84	68	593	67	38	リブレイス
2 ダイワメジャー	65	74	522	73	32	ホーリーエンジェル
3 エンパイアメーカー	64	68	558	52	27	キクノステラ

1 シンボリクリスエス	13	10	76	22	7	ヌーディストビーチ
2 ステイゴールド	11	15	91	18	6	コスモヴァーズ
3 アドマイヤムーン	11	6	65	12	6	エミリーオ

1 ハーツクライ	5	5	56	19	3	トーアレラ
2 ロージズインメイ	5	4	21	7	2	キルタンサス
3 クロフネ	5	1	27	12	4	デザートカレー

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

園田クイーンセレクション
アリアナティー2016年2月12日生まれ 牝 黒鹿毛 兵庫・保利良平厩舎
生産・土井牧場(新冠郡新冠町)

ローエングリ 鹿毛1999	Singspiel 鹿毛1992	In The Wings Glorious Song
	カーリング(FR) 黒鹿毛1992	Garde Royale Corraleja
スーパーマダム 鹿毛2010	タニノギムレット 鹿毛1999	ブライアンスタイル(USA) タニノクリスタル
	オメガフォーチュン 黒鹿毛1997	フジキセキ エリンバード(FR)

1月17日の園田クイーンセレクションを勝ったのはアリアナティー。昨年8月のデビュー戦(820m)を制した後は連敗を喫したが、前走のJRA認定アップパートライを2馬身半差で勝利。2番人気に推された今回は、1番人気の重賞ウイナー・リリコを豪快に差し切り、重賞初制覇を果たした。

父ローエングリは現役時代、中山記念など芝1600～1800mの重賞を4勝。宝塚記念や安田記念で3着に入り、8歳まで計48戦を走りきった“無事は名馬”だった。ムーランドロンシャン賞2着、香港マイル3着などの海外GIでも上位争いを演じている。GI勝ちを果たせなかったが、父は

ジャパンCやドバイワールドCを勝ったシングスピールで、母が仏オークス馬カーリングという血統からも、種牡馬として期待するホースマンは多く、その期待は2年目産駒ロゴタイプの登場で成就した。

朝日杯フューチュリティSを勝ってJRA賞・最優秀2歳牡馬に輝いたロゴタイプは、翌年の皐月賞でエピファネイアを破りクラシックホースになると、6歳を迎えた3年後の安田記念でも、年度代表馬モリスを破ってGIは計3勝。見事に父を上回る実績を残した。2018年から種牡馬入りし、初年度は97頭の牝馬に種付けしている。

ロゴタイプの活躍に伴い、ローエングリは2013年に、前年の約6倍となる176頭に種付けする人気を集めた。その世代からはフィリーズレビューのカラクレナイ、新潟2歳Sのヴゼットジョリーが誕生している。現4歳世代でも、OROカップ(盛岡)を勝ち、ホッカイドウ競馬所属からJRAの重賞戦線に果敢に挑戦し続けているハッピーグリーンが出ている。

ちなみに、産駒のJRAでの勝ち鞍の約80%が芝という種牡馬成績で、ダートの大物はいないが、本馬の他には初重賞(佐賀)のカシノペンダント、尾張名古屋杯(名古屋)のロードパルジファル、百万石



写真●兵庫県競馬組合

園田クイーンセレクションを制したアリアナティー

賞(金沢)のトウショウプライドの3頭が地方ダート重賞を勝利している。

アリアナティーは牝系も優秀だ。母スーパーマダムはJRA1勝の実績で、祖母オメガフォーチュンも未勝利だが、その祖母の妹がオークス馬エリンコート、甥が毎日杯のミュゼエイリアン。さらに、3代母エリンバードは伊1000ギニーの勝ち馬で、牝系を遡るとフサイチコンコルド(日本ダービー)、アンライバルド(皐月賞)、ヴィクトリー(皐月賞)、コンデユイト(ブリーダーズCターフ)、サンプリンセス(英オークス)など多くの名馬が出た名門・サニーヴァレーに辿り着く。

母の父タニノギムレットも日本ダービー馬で、産駒の勝ち鞍の2/3が芝という芝向き種牡馬ということから、芝でも活躍が見込める血統とも言える。園田クイーンセレクションはJRA桜花賞のトライアル競走に出走する選定競走でもあり、JRA芝戦線への挑戦も見てみたい血統馬である。

DIRT GRADE DATA 作戦

第30回 東京スプリント JpnⅢ

4月10日(水)

4歳以上 大井1200m

1着賞金 2700万円

フルゲート16頭

18.4.18 大井 1200m 晴・不良	②③ グレイスフルリープ(JRA) 牡8 57 武 豊 1.11.8 6人気 ④⑦ キタサンミカヅキ(船橋) 牡8 57 繁田健一 1 1/2 4 ⑦⑬ ネロ(JRA) 牡7 56 内田博幸 1/2 3
17.4.19 大井 1200m 晴・稍重	⑧⑩ キタサンサジン(JRA) 牡5 56 内田博幸 1.12.7 1人気 ②② プライツライン(JRA) 牡8 56 川田将雅 アタマ 3 ⑦⑧ レーザーバレット(JRA) 牡9 56 戸崎圭太 1 1/4 4
16.4.6 大井 1200m 曇・稍重	⑦⑫ コーリンベリ(JRA) 牝5 56 松山弘平 1.11.4 3人気 ⑩⑩ グレープブランデー(JRA) 牡8 58 武 豊 2 1/2 4 ③④ ダノンレジェンド(JRA) 牡6 57 M.デムーロ 2 1

●JpnⅢの中で最もハイレベルな一戦

JpnⅢの中では最もハイレベルな一戦で、好走するにはGI/JpnⅠ級の能力が必要となる。2018年1着のグレイスフルリープは、同年秋に京都でのJBCスプリントを制することになった。15年1着のダノンレジェンドもやはりその後、JBCスプリントを制覇。16年1着のコーリンベリは前年に同レースを制していた。無論、例外はあるものの、ダート短距離での高い資質を持っている馬が上位入線しやすい。前走のレースと着順、ローテーションは不問で、大敗馬の巻き返しもある。過去5年、地方馬で3着以内に入ったのは18年2着のキタサンミカヅキと14年3着のアルゴリズムのみ。

第23回 マリーンカップ JpnⅢ

4月17日(水)

3歳以上牝馬 船橋1600m

1着賞金 2500万円

フルゲート14頭

18.4.11 船橋 1600m 曇・良	⑥⑦ アンジュデジュール(JRA) 牝4 57 横山典弘 1.41.2 2人気 ②② クイーンマンボ(JRA) 牝4 57 C.ルメール 3/4 1 ⑧⑪ ヤマニンアンブリメ(JRA) 牝4 55 鮎島良太 クビ 4
17.4.12 船橋 1600m 曇・重	⑧⑪ ホワイトフォーガ(JRA) 牝5 58 蛸名正義 1.41.3 2人気 ⑦⑨ ララベル(大井) 牝5 55 森 泰斗 3 6 ⑦⑧ リンダリンド(大井) 牝4 55 吉原寛人 2 4
16.4.13 船橋 1600m 雨・稍重	⑦⑧ ヴィータアレグリア(JRA) 牝5 55 戸崎圭太 1.40.2 1人気 ⑥⑦ ブルーチップ(大井) 牝6 55 岩田康誠 1/2 4 ①① ダブルファンタジー(兵庫) 牝6 55 笹川 翼 大差 6

●マイル戦の意識を取り払う

翌月には同じ船橋1600mでかしわ記念が行われるが、予想する際には「マイル戦だから」というようなイメージは振り払った方がいいかもしれない。前走エンプレス杯で好走していた馬が参戦してきて、そのまま好走するケースが多いからだ。一方で、前走TCK女王盃組は着順が悪い馬でも一変するケースがある。距離よりも左回りの実績・慣れの方が重要と言えるかもしれない。現役トップクラスの牝馬はフェブラリーステークスからくる場合もある。ホワイトフォーガやサンビスタはそこで善戦したと言える内容だった。そうした馬がいれば、斤量が重くても信頼できる。

第21回 かきつばた記念 JpnⅢ

5月1日(祝・水)

4歳以上 名古屋1400m

1着賞金 未定

フルゲート12頭

18.4.30 名古屋 1400m 曇・良	⑥⑦ サクセスエナジー(JRA) 牡4 54 松山弘平 1.25.9 2人気 ③③ キングスガード(JRA) 牡7 58 藤岡佑介 3/4 1 ⑧⑪ サンライズメジャー(JRA) 牡9 56 大野拓弥 クビ 9
17.5.3 名古屋 1400m 晴・良	②② トウケイタイガー(兵庫) 牡6 52 川原正一 1.26.8 2人気 ⑦⑨ タムロミラクル(JRA) 牡5 55 川田将雅 4 4 ⑤⑥ ショコラプラン(JRA) 牡5 56 M.デムーロ クビ 1
16.5.3 名古屋 1400m 曇・良	③③ ノボバカラ(JRA) 牡4 54 M.デムーロ 1.27.0 2人気 ⑧⑨ ブルドッグボス(JRA) 牡4 54 C.ルメール 2 3 ⑦⑦ レーザーバレット(JRA) 牡8 55 戸崎圭太 1 1/2 4



写真●愛知県競馬組合

●穴は少ないが、地方馬にも注目

過去5年の1番人気馬の成績は【1・2・1・1】。2018年はキングスガードがなんとか2着を死守。前走黒船賞2着、斤量58キロで仕事を果たした。前走ダートグレードや中央のオープン特別で好走していれば、多少斤量が重くても連軸視してもいいだろう。16年、1番人気で4着に敗れたタガノトンネルは、前走フェブラリーステークスで6着という成績だった。普通に考えると全く問題ない臨戦過程だが、同レースからの好走馬は案外少ない。好ステップは中央ならば阪神のコーラルステークス。地方ならば東京スプリントだ。

穴馬が食い込むケースは少ない。18年に9番人気で3着に入ったサンライズメジャーは9歳と高齢かつ、ダート初経験でいきなり激走を果たした。父が芝血統のダイワメジャーで狙いにくかったが、母父がダートで強いDeputy Minister。このあたりも好走要因の一端だったろうか。地方馬にも注目。17年にはトウケイタイガー、14年にはタガノジンガロと兵庫所属馬が勝利した。ともに元中央馬で前走勝利していた。

第20回 兵庫 チャンピオンシップ JpnⅡ

5月2日(休・木)

3歳 園田1870m

1着賞金 未定

フルゲート12頭

18.5.3 園田 1870m 晴・稍重	③③ テーオーエナジー(JRA) 牡3 56 岩田康誠 2.00.0 1人気 ④④ ビッグスモーキー(JRA) 牡3 56 濱中 俊 5 2 ⑤⑤ キャベンディッシュ(JRA) 牡3 56 M.デムーロ 1 1/2 3
17.5.4 園田 1870m 晴・良	⑥⑦ タガノディゴ(JRA) 牡3 56 川島信二 2.00.6 3人気 ⑤⑥ ノーブルサターン(JRA) 牡3 56 鮎島良太 3/4 5 ①① クイーンマンボ(JRA) 牡3 54 北村友一 3 2
16.5.4 園田 1870m 晴・良	⑥⑧ ケイティブレイブ(JRA) 牡3 56 川原正一 2.00.2 2人気 ⑤⑥ ゴールドドリーム(JRA) 牡3 56 川田将雅 7 1 ④④ グランセブラス(JRA) 牡3 56 松若風馬 3 1/2 5



写真●兵庫県競馬組合

●伏電ステークスからの飛躍を目指す

7月に行われるジャパンダートダービーへ向けてのステップレース。この時期になると中央勢の層が厚くなっており、地方馬は南関東勢が地元のクラシックに注力するという点も大きい。過去5年で3着以内に好走したのはすべて中央馬で地方馬の台頭は難しい。

好ステップは伏電ステークス。パワーを要する中山ダート1800mで好走できていれば大きな強み。園田ではより小回りになるが、対応しやすいと言える。近年ではケイティブレイブ、クロスリガー、コパノリッキーといった才気あふれる馬たちが勝利しており、同レースをステップに出世した。

あとは前走500万クラスの勝ち馬に注目。オープンクラスの経験は必須ではなく、力がある馬ならば突破は十分可能だ。特に近年は阪神ダート1800mを勝ち上がった馬の好走が目立つ。2018年に優勝したテーオーエナジーも該当。結局、500万クラスのレースでどれだけ強い勝ち方をしているかが重要になってくる。前走芝の重賞を使っていた馬も何頭か好走しているが、それ以前にダートの実績があった。

第31回 かしわ記念 Jpn I 5月6日(振・月) 4歳以上 船橋1600m 1着賞金6000万円 フルゲート14頭	18.5.2 船橋 1600m 雨・良	6 ⑦ ゴールドドリーム (JRA) 牡5 57 C.ルメール 1.39.2 2人気 8 ③ オールブラッシュ (JRA) 牡6 57 田邊裕信 1 6 9 ⑪ インカンテーション (JRA) 牡8 57 三浦皇成 アタマ 1 単勝⑦320円 枠連複(3-6)5,100円 馬連複(3-7)5,830円 枠連単(6-3)9,420円 馬連単(7-3)9,520円 3連複(3-7-11)3,930円 3連単(7-3-11)32,670円	1 ① コパノリッキー (JRA) 牡7 57 武 豊 1.39.9 2人気 2 ② インカンテーション (JRA) 牡7 57 岩田康誠 2 5 3 ③ モーニン (JRA) 牡5 57 C.ルメール クビ 3 単勝①320円 枠連複(1-2)1,100円 馬連複(1-2)1,040円 枠連単(1-2)1,060円 馬連単(1-2)1,740円 3連複(1-2-3)1,620円 3連単(1-2-3)6,930円
	17.5.5 船橋 1600m 晴・良	1 ① コパノリッキー (JRA) 牡6 57 武 豊 1.39.2 3人気 5 ⑥ ソルテ (大井) 牡6 57 吉原寛人 3 6 4 ④ ベストウォーリア (JRA) 牡6 57 戸崎圭太 1 1/2 5 単勝①630円 枠連複(1-5)6,730円 馬連複(1-6)6,450円 枠連単(1-5)9,740円 馬連単(1-6)10,350円 3連複(1-4-6)6,580円 3連単(1-6-4)56,430円	
	16.5.5 船橋 1600m 晴・稍重	2 ② サクセスエナジー (JRA) 牡4 56 松山弘平 1.26.2 1人気 1 ① キタサンミカヅキ (船橋) 牡8 57 繁田健一 ハナ 5 3 ③ アンサンブルライフ (浦和) 牡5 56 的場文男 4 9 単勝②280円 枠連複(1-2)880円 馬連複(1-2)1,010円 枠連単(2-1)1,390円 馬連単(2-1)1,540円 3連複(1-2-3)21,550円 3連単(2-1-3)73,850円	5 ⑥ ホワイトフーガ (JRA) 牝5 56 蛸名正義 1.25.7 3人気 2 ② モーニン (JRA) 牡5 58 C.ルメール 4 2 6 ⑧ ベストウォーリア (JRA) 牡7 58 戸崎圭太 2 1 単勝⑥580円 枠連複(2-5)590円 馬連複(2-6)580円 枠連単(5-2)1,650円 馬連単(6-2)1,480円 3連複(2-6-8)230円 3連単(6-2-8)2,550円
第23回 さきたま杯 Jpn II 5月29日(水) 4歳以上 浦和1400m 1着賞金3100万円 フルゲート12頭	18.5.30 浦和 1400m 雨・良	4 ④ ソルテ (大井) 牡6 56 吉原寛人 1.25.9 2人気 6 ⑦ ベストウォーリア (JRA) 牡6 58 戸崎圭太 1 1/2 1 6 ⑧ ドリームバレンチノ (JRA) 牡9 58 岩田康誠 2 1/2 5 単勝④260円 枠連複(4-6)280円 馬連複(4-7)280円 枠連単(4-6)530円 馬連単(4-7)570円 3連複(4-7-8)1,320円 3連単(4-7-8)3,900円	2 ③ テーオーヘリオス (JRA) 牡6 56 濱中 俊 1.12.9 1人気 3 ⑤ ラブバレット (岩手) 牡7 56 山本聡哉 クビ 3 5 ⑩ スノードラゴン (JRA) 牡10 59 五十嵐冬樹 アタマ 5 単勝③260円 枠連複(2-3)520円 馬連複(3-5)660円 馬連単(3-5)990円 3連複(3-5-10)1,780円 3連単(3-5-10)5,210円
	17.6.8 門別 1200m 曇・不良	2 ③ ニシケンモノノフ (JRA) 牡6 57 横山典弘 R1.09.4 1人気 7 ⑭ ショコラブラン (JRA) 牡5 56 戸崎圭太 4 2 9 ⑨ スノードラゴン (JRA) 牡9 59 大野拓弥 クビ 3 単勝③190円 枠連複(2-7)190円 馬連複(3-14)190円 馬連単(3-14)340円 3連複(3-9-14)260円 3連単(3-14-9)770円	7 ⑪ ダノンレジェンド (JRA) 牡6 58 M.デムーロ 1.09.9 1人気 6 ⑧ ノボバカラ (JRA) 牡4 57 桑村真明 ハナ 2 4 ⑤ スノードラゴン (JRA) 牡8 59 大野拓弥 4 3 単勝⑦160円 枠連複(6-7)170円 馬連複(8-11)180円 馬連単(11-8)260円 3連複(5-8-11)420円 3連単(11-8-5)1,040円
	16.6.9 門別 1200m 雨・不良	4 ⑤ ハービンマオ (JRA) 牝3 54 松岡正海 2.17.6 6人気 5 ⑥ ゴールドパテック (川崎) 牝3 54 山崎誠士 3/4 5 3 ③ クレイジーアックス (大井) 牡3 54 御神本訓史 4 3 単勝⑤2,110円 枠連複(4-5)3,240円 馬連複(5-6)8,120円 枠連単(4-5)6,420円 馬連単(5-6)19,780円 3連複(3-5-6)9,050円 3連単(5-6-3)104,200円	7 ⑩ クイーンマンボ (JRA) 牝3 54 C.ルメール 2.19.0 1人気 5 ⑥ アンジュデジュール (JRA) 牝3 54 横山典弘 4 3 1 ① ステップオブダンス (大井) 牝3 54 森 泰斗 3 6 単勝⑦190円 枠連複(5-7)430円 馬連複(6-10)430円 枠連単(7-5)640円 馬連単(10-6)670円 3連複(1-6-10)2,390円 3連単(10-6-1)5,670円
第55回 関東オークス Jpn II 6月12日(水) 3歳牝馬 川崎2100m 1着賞金3200万円 フルゲート14頭	18.6.13 川崎 2100m 晴・稍重	3 ⑬ タイニーダンサー (JRA) 牝3 54 戸崎圭太 2.19.1 2人気 5 ⑦ ミスミランダー (船橋) 牝3 54 森 泰斗 2 1/2 7 4 ⑥ アルセナーレ (JRA) 牝3 54 大野拓弥 クビ 1 単勝⑬310円 枠連複(5-8)1,930円 馬連複(7-13)6,430円 枠連単(8-5)2,670円 馬連単(13-7)8,550円 3連複(6-7-13)4,230円 3連単(13-7-6)37,780円	8 ④ ゴールドドリーム (JRA) 牡5 57 C.ルメール 2.04.2 2人気 2 ② ケイティブレイブ (JRA) 牡5 57 福永祐一 クビ 1 6 ⑩ サウンドトゥルー (JRA) セン8 57 大野拓弥 1 1/2 4 単勝④340円 枠連複(2-3)320円 馬連複(2-4)510円 枠連単(3-2)650円 馬連単(4-2)920円 3連複(2-4-10)1,080円 3連単(4-2-10)4,310円
	17.6.14 川崎 2100m 晴・重	2 ③ ケイティブレイブ (JRA) 牡4 57 福永祐一 2.04.4 6人気 5 ⑩ クリンライト (JRA) 牡7 57 戸崎圭太 1 3/4 5 1 ② アウオーディー (JRA) 牡7 57 武 豊 3 1 単勝③820円 枠連複(2-5)2,950円 馬連複(3-10)2,330円 枠連単(2-5)5,350円 馬連単(3-10)5,280円 3連複(2-3-10)2,200円 3連単(3-10-2)20,400円	3 ③ コパノリッキー (JRA) 牡6 57 武 豊 2.03.5 5人気 2 ② ノンコノユメ (JRA) 牡4 57 C.ルメール 3 1/2 1 6 ⑦ サウンドトゥルー (JRA) セン6 57 大野拓弥 5 2 単勝③660円 枠連複(2-3)1,160円 馬連複(2-3)1,120円 枠連単(3-2)2,870円 馬連単(3-2)2,280円 3連複(2-3-7)1,190円 3連単(3-2-7)6,900円
	16.6.29 大井 2000m 曇・不良		

●逃げ馬の残り目には注意

JpnIの中でも屈指の好メンバーになる注目の大一番。特に近年は中央勢の層が厚く、フェブラリーステークス出走馬が押し寄せてくる。大きなカギとなるのは展開。フェブラリーステークスは常にハイペースとなるため、前々から押し切るのは至難の業。しかし、かしわ記念はペースがそこまで上がらないため前残りを警戒しなければならない。2018年はオールブラッシュが6番人気で2着、17年はモーニンが3着、16年は6番人気のソルテが強力な中央勢を切り崩す走りでも逃げた馬が残った。展開や枠順、ペースのアヤが勝敗に大きく直結するレースだ。

●かしわ記念の好走馬がいれば中心視

年によってメンバー構成が大きく異なる難しい一戦。前走かしわ記念の好走馬が出走しているかどうかで、レースのレベル・質が変わってくる。もしいい素直に中心視してもいいだろう。不在だった場合は、前走、別のダートグレードで好走している馬が有力だ。2018年2着キタサンミカヅキは地方馬だが、前走東京スプリントで2着だった。地方勢にとって敷居があまり高くない点もこのレースの大きな特徴。18年はアンサンブルライフが9番人気で3着、13年はナイキマドリッドが7番人気で3着に入っている。過去にさきたま杯で5着以内の実績があるか、前走浦和のレースで1着の馬がいれば穴馬としてマークしておきたい。

●1番人気3連勝中で堅い傾向

過去5年、1番人気の成績は【3・1・1・0】で複勝率は100%。目下3連勝と堅い傾向だ。また、その間にスノードラゴンが4回馬券になっている。門別1200mとの相性の良さはもちろんあり、なおかつ差もある程度決まるレースであると言える。ニシケンモノノフやダノンレジェンドはスピードで圧倒して逃げ切っているが、GI/JpnIクラスの馬ならではの芸当だろう。ステップレースはさまざまだが東京スプリントが王道で、同レースからの巻き返しが多い。地方馬では2018年にラブバレット、15年ポアゾンブラックが2着に好走。ダートグレードでの好走実績は必須だ。

●地方馬の取捨が難解

非常に難解で、波乱の可能性が高いレース。中心は中央勢でよく、兵庫チャンピオンシップで3着以内か、中央のオープン特別で善戦している馬が有力。500万クラス組は強い勝ち方をしているが、例外もある。問題は地方馬の取捨だ。以前は東京プリンセス賞で3着以内に入っていた馬をマークすればよかった。しかし、近年はそれが通用しなくなっている。前走南関東の重賞に出走していれば何でもありという状況だ。あとは、父ゴールドアリュールの馬をマークしておきたい。他地区勢は、地元で圧倒的な勝ち方をしている、前評判が高い馬ならばチャンスがある。

●東京大賞典に比べると難解

東京大賞典に比べると、出走馬のローテーションにバラつきがあり、予想は難しく波乱要素がある。例えば、ドバイワールドカップから直行している場合、調整はかたし難しくなると考え方がい。2015年はホッコータルマエが地方でなんとか1着をもぎ取ったが、17年はアウオーディーが1番人気で3着に敗れている。また、距離の面でも注意すべき点がある。最重要ステップレースはかしわ記念だが、マイル戦なので2000mの帝王賞とは微妙に結びつきにくい。基本的にはかしわ記念5着以内の馬が最有力だが、400mの距離延長で着順の入れ替わりが十分にあると考えたほうがいだろう。

高額配当ランキング
 2018年12月1日～2019年2月28日

[五重勝単勝式]

第1位	4,311,790円(1口)	2/4 笠松
第2位	1,922,490円(4口)	2/19 園田
第3位	1,806,910円(1口)	12/19 園田

[七重勝単勝式]

第1位	3,384,220円(1口)	1/2 帯広
-----	----------------	--------

読者プレゼント

①吉村智洋騎手直筆サイン色紙…2名様
 提供：吉村智洋騎手

②オッズパーク オリジナルTシャツ (Lサイズ) …10名様
 提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkをご利用してのご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は4月22日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
 〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、南関東 … ナイター開催当日12:00 ~

DG ダートグレード開催日 (重賞) 重賞開催日
 ☆: 薄暮取扱 ☆: ナイター取扱

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	日	
ばんえい 帯 広																												★	★	★	★	ばんえい
ホッカイドウ 門 別																	★	★					★ 重賞	★							ホッカイドウ	
岩 手 盛岡／水沢						水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢		岩手	
						☆ 重賞	☆						☆ 重賞	☆							☆	☆					☆	☆ 重賞				
金 沢	☆	☆	☆					☆						☆		☆					☆		☆					☆ 重賞		☆		金沢
笠 松				重賞																					重賞							笠松
名 古 屋											重賞					重賞																名古屋
兵 庫 園田／姫路		園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	兵庫
											重賞																					
高 知													★	★						★	★ 重賞							★	★ 重賞			高知
佐 賀						☆	☆ 重賞						☆	☆						☆	☆ 重賞						☆	☆	☆			佐賀
南関DG									★大井 DG								★船橋 DG															南関東

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
ばんえい 帯 広				★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★	★					★	★	★					ばん えい	
ホッカイドウ 門 別	★	★						★	★						★	★					★ 重賞	★							★	★ 重賞		ホッカ イドウ	
岩 手 盛岡／水沢			水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆						盛岡 ☆	盛岡 ☆	盛岡 ☆					盛岡 ☆	盛岡 ☆	盛岡 ☆					盛岡 ☆	盛岡 ☆	盛岡 ☆				岩手	
金 沢					★ 重賞	☆						☆		☆					☆		☆						☆		☆			金沢	
笠 松																							★ 重賞									笠松	
名 古 屋	DG	★ 重賞																														名古屋	
兵 庫 園田／姫路	園田	園田	園田	★ 重賞				園田	園田	園田						園田	園田	園田					園田	園田	園田				園田	園田	園田	兵庫	
高 知		★ 重賞	★								★	★							★	★						★	★					高知	
佐 賀				☆	☆	☆					☆	☆ 重賞							☆	☆					☆	☆ 重賞							佐賀
南関DG						船橋 DG																							浦和 DG			南関東	

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
ばんえい 帯 広	★	★	★					★	★	★					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★	ばんえい
ホッカイドウ 門 別					★	★ DG					★	★	★						★ 重賞	★ 重賞					★	★	★ 重賞				ホッカイドウ
岩 手 盛岡／水沢		盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆	盛岡 ☆					水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆	水沢 ☆					水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆	水沢 ☆					水沢 ☆ 重賞	水沢 ☆	水沢 ☆				水沢 ☆ 重賞	岩手	
金 沢		☆		☆ 重賞					☆		☆ 重賞					☆		☆					☆ 重賞		☆				☆	金沢	
笠 松																														笠松	
名 古 屋											重賞																			名古屋	
兵 庫 園田／姫路					園田	園田	園田					園田	園田	園田		★ 重賞				園田	園田	園田				園田	園田	園田			兵庫
																★ 重賞						★						★			
高 知								★	★						★	★ 重賞						★	★						★	★	高知
佐 賀	☆	☆						☆	☆ 重賞						☆	☆						☆	☆ 重賞						☆	☆	佐賀
南関DG											★川崎 DG															★大井 DG					南関東

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみの投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみの投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2019年4月~6月)

4月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	笠 松	4(木)	第45回 新緑賞 重賞	3歳	1,600	
	水 沢	7(日)	第44回 あやめ賞 重賞	3歳牝馬	1,400	
	佐 賀	7(日)	第18回 ル・プランタン賞 重賞	3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	大 井	10(水)	第30回 東京スプリントJpnⅢ DG	4歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	名古屋	11(木)	第59回 東海桜花賞 重賞	4歳以上	1,400	地方全国交流
	園 田	11(木)	第51回 菊水賞 重賞	3歳	1,700	
	水 沢	14(日)	第44回 赤松杯 重賞	4歳以上	1,600	
	名古屋	16(火)	第25回 東海クイーンカップ 重賞	3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	船 橋	17(水)	第23回 マリーンカップJpnⅢ DG	3歳以上牝馬	1,600	中央・地方全国交流
	高 知	21(日)	第35回 二十四万石賞 重賞	4歳以上	1,900	
	佐 賀	21(日)	第7回 佐賀皐月賞 重賞	3歳	1,800	
	門 別	23(火)	第9回 コスモバルク記念 重賞	3歳以上	1,800	地方全国交流
	笠 松	25(木)	第28回 オグリキャップ記念 重賞	4歳以上	2,500	地方全国交流
	金 沢	28(日)	第29回 金沢スプリングカップ 重賞	4歳以上	1,900	
	水 沢	29(祝・月)	第19回 留守杯日高賞 重賞	3歳牝馬	1,600	地方全国交流
	高 知	29(祝・月)	第23回 黒潮皐月賞 重賞	3歳	1,400	
5月	名古屋	1(祝・水)	第21回 かきつばた記念JpnⅢ DG	4歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	名古屋	2(休・木)	第58回 駿蹄賞 重賞	3歳	1,800	
	園 田	2(休・木)	第20回 兵庫チャンピオンシップJpnⅡ DG	3歳	1,870	中央・地方全国交流
	高 知	2(休・木)	第10回 福永洋一記念 重賞	4歳以上	1,600	
	園 田	3(祝・金)	第55回 兵庫大賞典 重賞	4歳以上	1,870	
	水 沢	4(祝・土)	第32回 やまびこ賞 重賞	3歳	1,900	
	帯 広	5(祝・日)	第13回 ばんえい十勝オッズパーク杯 重賞	4歳以上選抜	200	
	水 沢	5(祝・日)	第44回 シアンモア記念 重賞	4歳以上	1,600	
	金 沢	5(祝・日)	第27回 北日本新聞杯 重賞	3歳	1,700	
	船 橋	6(振・月)	第31回 かしわ記念JpnⅠ DG	4歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	佐 賀	12(日)	第2回 佐賀スプリングカップ 重賞	3歳以上	1,800	
	園 田	16(木)	第57回 のじぎく賞 重賞	3歳牝馬	1,700	地方全国交流
	門 別	21(火)	第56回 赤レンガ記念 重賞	3歳以上	2,000	地方全国交流
	笠 松	23(木)	第2回 ぎふ清流カップ 重賞	3歳	1,600	北陸・東海・近畿地区交流
	佐 賀	26(日)	第61回 九州ダービー栄城賞 重賞	3歳	2,000	
	浦 和	29(水)	第23回 さきたま杯JpnⅡ DG	4歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	門 別	30(木)	第43回 北斗盃 重賞	3歳	1,600	地方全国交流
6月	盛 岡	2(日)	第4回 早池峰スーパースプリント 重賞	4歳以上	1,000	
	金 沢	4(火)	第3回 石川ダービー 重賞	3歳	2,000	
	門 別	6(木)	第23回 北海道スプリントカップJpnⅢ DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	園 田	6(木)	第20回 兵庫ダービー 重賞	3歳	1,870	
	水 沢	9(日)	第27回 東北優駿(岩手ダービー) 重賞	3歳	2,000	
	佐 賀	9(日)	第3回 佐賀ヴィーナスカップ 重賞	4歳以上牝馬	1,400	地方全国交流
	金 沢	11(火)	第1回 徹軒(ことじ)賞 重賞	3歳以上牝馬	1,500	
	名古屋	11(火)	第49回 東海ダービー 重賞	3歳	1,900	
	川 崎	12(水)	第55回 関東オークスJpnⅡ DG	3歳牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	園 田	14(金)	第57回 六甲盃 重賞	4歳以上	2,400	北陸・東海・近畿地区交流
	水 沢	16(日)	第47回 一條記念みちのく大賞典 重賞	4歳以上	2,000	
	高 知	16(日)	第47回 高知優駿(黒潮ダービー) 重賞	3歳	1,900	地方全国交流
	門 別	19(水)	第47回 北海優駿(ダービー) 重賞	3歳	2,000	地方全国交流
	門 別	20(木)	第5回 ヒダカソウカップ 重賞	3歳以上牝馬	1,600	地方全国交流
	園 田	20(木)	第9回 園田FCスプリント 重賞	3歳以上	820	
	帯 広	23(日)	第50回 旭川記念 重賞	3歳以上	200	
	水 沢	23(日)	第43回 ウイナーカップ 重賞	3歳	1,400	
	金 沢	23(日)	第62回 百万石賞 重賞	3歳以上	2,100	
	佐 賀	23(日)	第1回 佐賀がばいダッシュ 重賞	4歳以上	900	
	大 井	26(水)	第42回 帝王賞JpnⅠ DG	4歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	門 別	27(木)	第44回 栄冠賞 重賞	2歳	1,200	地方全国交流
	水 沢	30(日)	第31回 栗駒賞 重賞	4歳以上	1,400	

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。



● オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式		投票方式				レース実況	
					枠番 普通 (馬券)	馬番 拡大 (ワイド)	枠番 普通 (馬券)	馬番 拡大 (ワイド)	三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票 オッズパーク投票	携帯アプリ投票 フラッシュチケット多帯投票		
	賭式番号	1	2	3	4	7	5	6	8	9								
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●		●	●	●				●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15		●	●	●	●	●		●	●	●			●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市)
水沢	12	12		●	●	●	●	●	●						●	●	●	0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●		●	●	●	●			●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●		●	●	●				●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12		●	●	●	●	●		●	●	●			●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市)
姫路	52	12		●	●	●	●	●		●	●	●				●	●	0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988

受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddspark.com/>
携帯
<http://m.oddspark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。